

# 不二製油株式会社

# 個人投資家向け 会社説明会

2025年9月

不二製油株式会社(証券コード:2607)

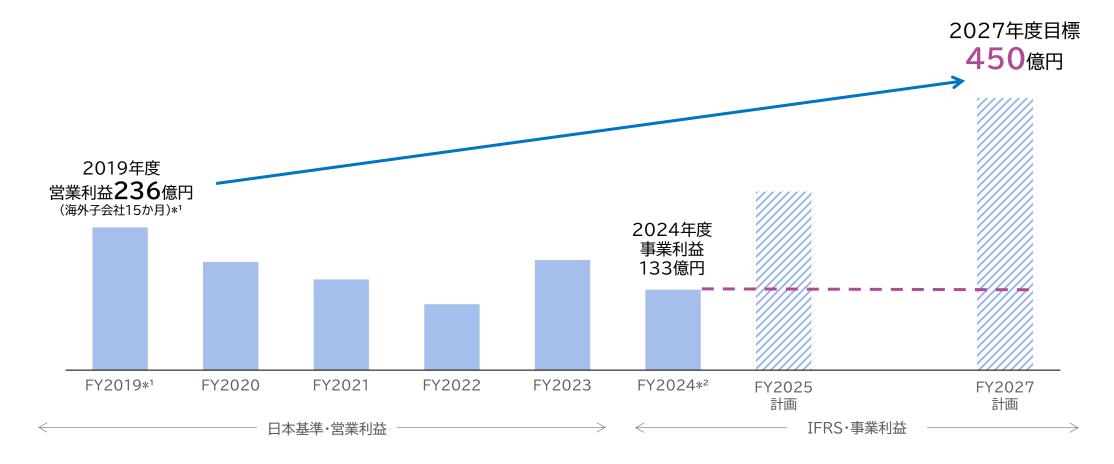
コーポレートコミュニケーション部 IR課

千野 万里恵

### 過去最高の利益成長へ

**下** 不二製油株式会社

2027年度に、過去最高益である2019年度の営業利益を大きく上回る、事業利益450億円の達成を図る。



1章	不二製油のご紹介
2章	2024年度 連結業績
3章	中期経営計画(2025~2027年度)
4章	サステナブルな食の未来に向けて

1章	不二製油のご紹介
2章	2024年度 連結業績
3章	中期経営計画(2025~2027年度)
4章	サステナブルな食の未来に向けて

### 会社概要

#### ~二製油株式会社

商号	不二製油株式会社
証券コード	2607(東証プライム)
代表取締役 CEO	大森 達司
本社	大阪府泉佐野市



大阪府泉佐野市の本社・阪南事業所

設立 1950<sub>年</sub>





2025年3月31日時点

業績 売上高 **6**,712<sub>億円</sub> 営業利益 **99**億円



2024年度実績、日本基準

特許取得数 3,488件



2025年3月31日までに登録された 不二製油(株)の全世界における 特許件数の合計。実案・意匠を含む。

海外売上高比率 **67**%



2024年度実績、日本基準

時価総額 約**3,200**億円



2025年9月3日時点

### 不二製油グループの主な拠点

■ 不二製油株式会社



## 14ヵ国39社

2025年3月31日時点の 不二製油(株)と連結子会社





アメリカ

★ ガーナ





ブラジル ドイツ



マレーシア

インドネシア



シンガポール

中国



\*\*\* オーストラリア



など

など

#### 優待品

チョコレートやプラントベース製品など当社グループ関連製品をお届け。

保有条件:100株以上を半年以上継続保有

対象株主:同年度の9月末日および3月末日を基準日とする

株主名簿に同一株主番号・100株以上保有で記載

された株主様



\*詳細は当社HP IR情報「個人投資家のみなさまへ」をご覧ください https://www.fujioil.co.jp/ir/stock/benefit/

#### 配当

### 安定的かつ継続的な配当の実施。



\*2025年度は予想値





https://api01platform.stream.co.jp/apiservice/plt3/NDU1MA%3d%3d%23MTI4%23280%23168%230%233FE2A0D9E400%23MDoyOjc6YTpmOzEwOzEwOzEw%23

### 不二製油の歴史

### 「人マネをしていては道はない」独自の開発を重視。

#### 最後発の油脂会社として創業

原料統制下で油脂原料が不足、技術も設備もなく、厳しい事業環境。



1950年創業当時の不二製油

#### 「人マネをしていては道はない」

独自の研究開発を重視。当時の日本で食用の実用化がなされていなかった南方系油脂に着目。



二代目社長 西村 政太郎



パーム

### 日本初の多くの製品を創出

~二製油株式会社

### 研究開発・製造技術を培い、多くの製品を生み出し、日本の食文化に貢献。



チョコレート用油脂



コーティングチョコレート



高脂肪クリームの無菌充填





植物性チーズ ティラミスブームを巻き起こす

主要原料

### 不二製油

植物性油脂事業

#### 顧客

#### 消費者

### B to B の食品中間素材メーカー



カカオ







チョコレート用 油脂

### 業務用チョコレート事業



チョコレート

### 食品メーカーなど

- ・飲料メーカー
- ・製菓メーカー
- ・製パンメーカー
- ・リテール
- ・外食チェーン
- ·学校給食



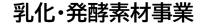














食用加工油脂





フィリング

大豆たん白素材



# 大豆





### 課題解決型の提案スタイル

### フジサニープラザを活用した課題解決型提案により、BtoBとして顧客に信頼される存在に。

1977年、顧客との共同開発をする拠点として、 フジサニープラザ東京を開設。 その後、グローバルにフジサニープラザを拡大。



1970年代、ドイツ人マイスターを招聘し 洋菓子講習会を開催

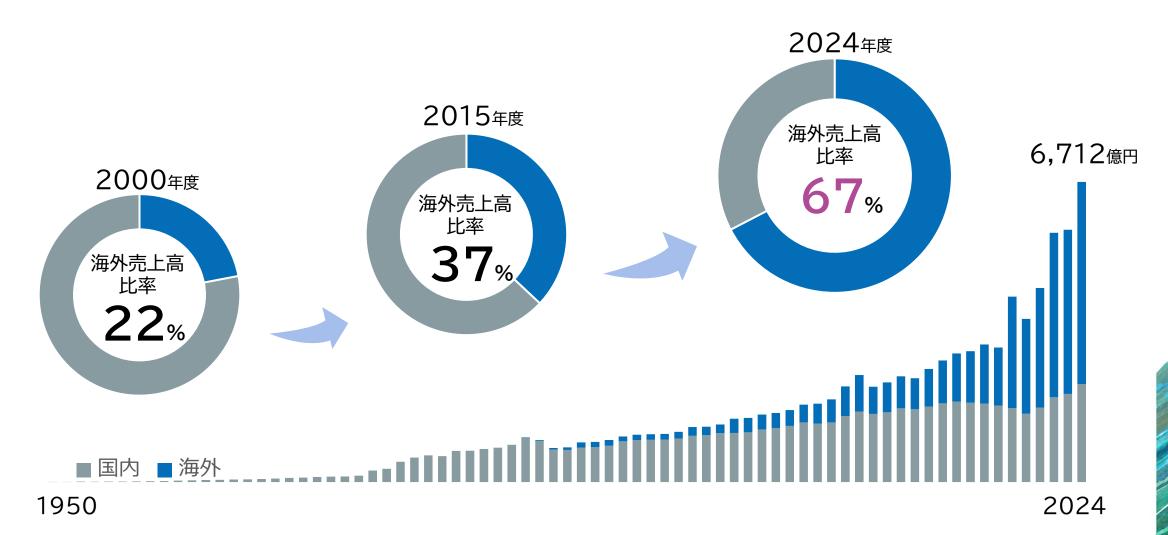
#### フジサニープラザ所在地



### 海外事業を拡大

**▼** 不二製油株式会社

1980年代より本格的に海外進出。2010年以降、M&Aを進め海外事業を拡大。





### 植物性油脂事業

売上高 2,073 億円 営業利益 263 億円

シェア チョコレート用油脂CBE\*1 日本 **1**位 世界 トップ**3** 

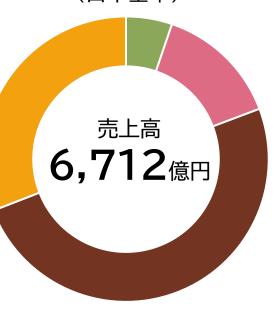
## 業務用 チョコレート事業

売上高 **3,347**億円 営業利益 ▲ **158**億円 カカオ特殊要因を除<実質営業利益 **147**億円

シェア 業務用チョコレート

日本 1位、世界 3位

2024年度実績(日本基準)





### 大豆加工素材事業

売上高 **351**億円 営業利益 **7**億円

シェア 水溶性大豆多糖類

日本 **1**位 世界 **1**位



### 乳化·発酵素材事業

売上高 942 億円 営業利益 34 億円

シェア 業務用ホイップクリーム\*<sup>2</sup>

日本 1位

\*2 植物性脂肪を含むホイップクリームを指す。

<sup>\*1</sup> Cocoa Butter Equivalent。カカオバターに似た性質を持つ代用可能なチョコレート用油脂。



チョコレート菓子 暑いと溶ける 寒いと口どけしづらい



チョコレート用油脂の組み合わせにより

# 季節・気候・食べ方に応じた おいしさを実現



チョコレートアイス 噛んだ時にコーティング チョコレートが剥がれる



チョコレート用油脂(植物性油脂事業)



コンパウンドチョコレート (業務用チョコレート事業)

ホイップクリーム 当日おいしいホイップクリームも 翌日になると、パサパさになる





油脂や乳化・発酵の技術により みずみずしさを保つ ホイップクリームを設計



ホイップクリーム (乳化・発酵素材事業)

酸性乳飲料 時間がたつと、乳の成分が沈むため 長期流通が難しい





おからを原料にした機能剤により

# 時間がたっても 安定した状態を保つ

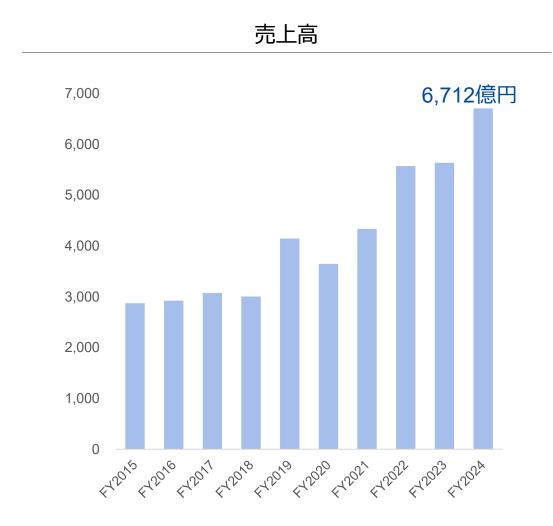




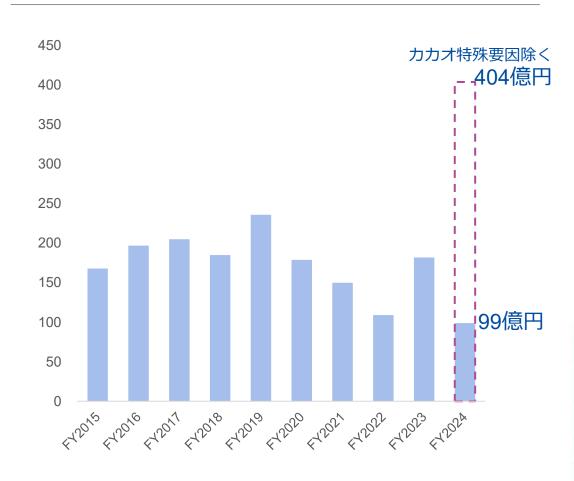
機能剤 (大豆加工素材事業)

1章 2章 2024年度 連結業績 3章 4章

### 売上高は拡大。営業利益は、既存事業は順調も、ブラマー(米国)の業績低迷により低調に推移。



### 営業利益



<sup>\* 2019</sup>年度は海外グループ会社19社の決算期の変更により、当該連結子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15か月決算。 上記は、日本基準に基づく数値。

### 2024年度 実績/事業別

■ 不二製油株式会社

植物性油脂事業は過去最高益を更新する一方、カカオ特殊要因が発生。



売上高

営業利益

FY2023

FY2024

FY2023

FY2024

最高益

1,854 > 2,073 154 > 263

億円



売上高

FY2024

営業利益

FY2023

FY2024

899 942 38



### 業務用チョコレート事業

売上高

FY2024

営業利益

FY2023

FY2024

2,534 3,347 18 158

億円

億円

FY2024

FY2023

FY2023

カカオ特殊要因を除く実質営業利益



### 大豆加工素材事業

売上高

FY2024

営業利益

FY2023

FY2024

355 **351** 

億円

\* 上記は、日本基準に基づく数値。

FY2023

1章 2章 3章 中期経営計画(2025~2027年度) 4章

### 中期経営計画 財務目標

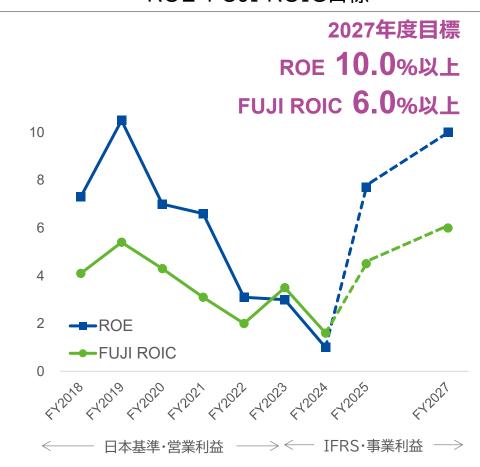
**「** 不二製油株式会社

2027年度に、過去最高益である2019年度の営業利益を大きく上回る、事業利益450億円の達成を図る。



#### ROE·FUJI ROIC目標



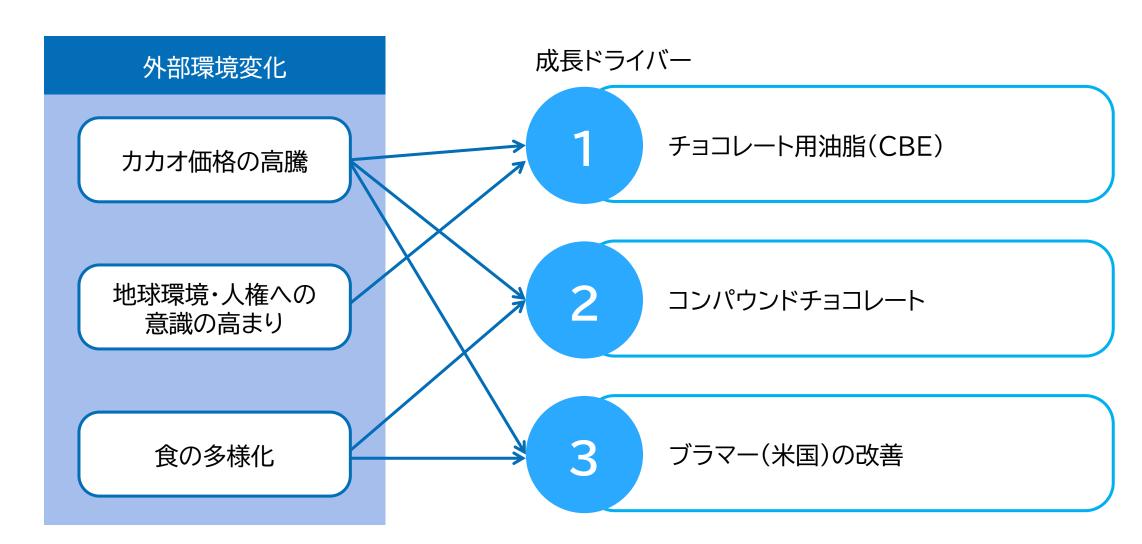


2019~2023年度実績は、日本基準の営業利益。2024年度実績、2025年度計画、2027年度計画はIFRSでの事業利益。

<sup>\*1 2019</sup>年度は海外グループ会社19社の決算期の変更により、当該連結子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15か月決算。

<sup>\*2 2025</sup>年度よりIFRSを任意適用。2024年度の数値はIFRSベースに組み替えて表示。

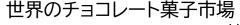
<sup>\*3</sup> FUJI ROIC=税引後事業利益÷(運転資本+固定資産+持分法投資) 2020年度以前は、ROICにて記載。 ROIC=営業利益×(1-法人税率)÷(有利子負債+自己資本)



### チョコレート菓子市場は成長する一方で、カカオ豆の生産数量の大幅な拡大は難しい。

#### チョコレート菓子マーケット予測

人口増加、経済成長に伴い、チョコレート菓子の 市場規模は拡大する見通し。





参照:Euromonitor Chocolate Confectionery 2024 Geography: world, category: chocolate confectionery Data type: Retail Value RSP

カカオ豆の生産数量

カカオは植樹から収穫まで2~4年かかり、またプラン テーション化がされにくいため、生産数量を大きく伸ば すことは難しい。

#### カカオ豆の生産数量



### カカオ価格の高騰

### カカオ相場は、2024年初より急騰。不二製油では、機会の獲得と課題への対応に取り組む。







### 機会

チョコレート用油脂(CBE)、 コンパウンドチョコレートの 需要の高まり



課題

ブラマー(米国)を中心に原料や関連コストの上昇

参照:ICE Future U.S.

# 1 チョコレート用油脂(CBE)



**「** 不二製油株式会社

チョコレート用油脂(CBE)の販売数量が大きく伸長し、植物性油脂事業は2024年度過去最高益。

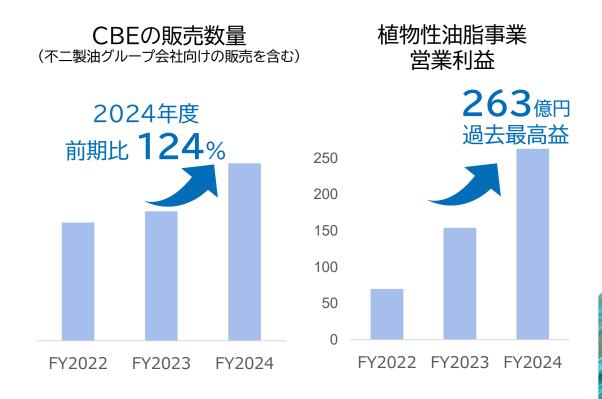
チョコレートの主な原材料

2024年度実績



カカオバターに代替可能な チョコレート用油脂(CBE)の 問い合わせが急増





# 1 チョコレート用油脂(CBE) サプライチェーン強化による競争優位性の確立

**「** 不二製油株式会社

川上のサプライチェーンを強化によって、顧客ニーズに応える高品質でサステナブルな製品を展開。



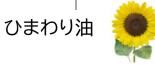
チョコレート用油脂(CBE) 中計3年間にわたり **収益を維持** 

パーム油

パーム農園を運営するJohor Plantations社との合弁会社「JPG フジ」を設立、2026年度稼働予定。



周辺環境を含めたJPG フジの完成イメージ図



2025年4月、当社グループに プロヴァンス ユイル(フランス)が加入。 高品質なひまわり油の調達を強化。



ひまわり油の精製を行うプロヴァンス ユイル(フランス)



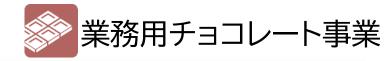


フジオイルガーナでは、シア分別設備の稼働を強化。女性協同組合と提携し、サステナブル調達を推進。



Tebma-Kandu女性協同組合との話し合いの様子

# 2 コンパウンドチョコレート



**□** 不二製油株式会社

価格競争力があり、幅広い用途で使用できるコンパウンドチョコレートの販売数量が伸長。

コンパウンドチョコレート

2024年度実績

#### 主な原材料



カカオの使用割合を抑え、コストダウンが可能 主な使用用途



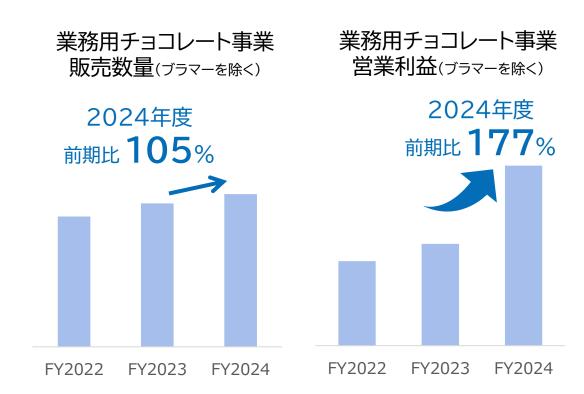






機能性を付与し、幅広い用途での使用が可能

→コンパウンドチョコレートの需要が増加



# 2 コンパウンドチョコレート 設備投資を通じ、販売数量増加を狙う

不二製油株式会社

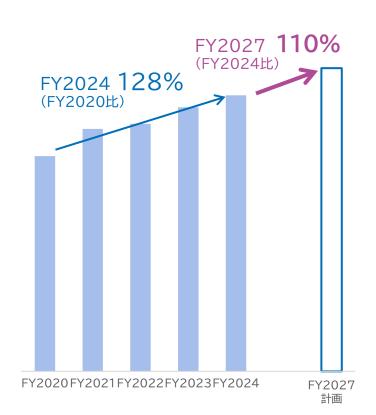
各拠点での設備投資を通じて供給能力を強化し、コンパウンドチョコレートの拡販を図る。

2027年度目標

業務用チョコレート事業 販売数量(ブラマー除く)

設備投資計画

2027年度販売数量 110% (ブラマー除く、2024年度比)





不二製油(株)\*イメージ図 更新として新工場を建設、2026年度稼働予定。 人手不足に対応した製品群の強化を図る。



フジオイルヨーロッパ 底堅いコンパウンド、フィリング、 ノンカカオ製品の需要に対応するため、 2026年度下期に新ライン稼働予定。

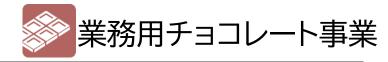


ハラルド コンパウンド拡大のため、第2工場に 新ラインを増設、2025年度より稼働開始。



インダストリアル フード サービシズ 2026年度に新工場の稼働を予定。 新市場への取り組みを強化。

# 3 ブラマー(米国)



~二製油株式会社

### 世界最大のマーケットである米国への足掛かりとして、2019年にブラマーを買収。

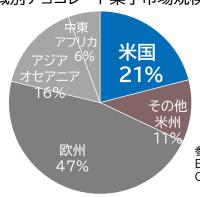
### ブラマー概要

創業	1939年
事業	業務用チョコレート事業
拠点*	米国3工場、カナダ1工場、中国1工場
シェア*	米国シェア2位 (チョコ2位、カカオ1位)

\* 買収当時

#### 米国市場

地域別チョコレート菓子市場規模



米国は単一国家で世界最大のマーケット

参照: Euromonitor Chocolate Confectionery

### 買収の目的

不二が持つ製造ノウハウや油脂技術をブラマーに応用し、米国でのコンパウンドチョコレートの成長を目指す。

#### ブラマーの強み

- ・米国での高いシェア
- ・カカオ豆の サステナブル調達

#### ブラマーの課題

- ・工場の生産性
- ・油脂技術のノウハウ

#### 不二製油の強み

- ・工場の生産性(安全性・効率性)
- ・油脂技術を活用したコンパウンドチョコレート

# ブラマー買収からこれまで



■ 不二製油株式会社

2024年3月に、ブラマー構造改革を発表し、課題への対応を進める。

2019年~2023年

コロナ禍など外部環境の変化に 柔軟に対応できず、ブラマーの収益 力が悪化。



コロナ禍での

- ・米国での雇用環境の変化、 人材不足
- ・日本からの専門人材派遣 の遅れ



- ・原材料価格の上昇
- ・米国での金利の上昇





工場生産性の改善が 遅延、収益力が悪化

2024年3月 構造改革

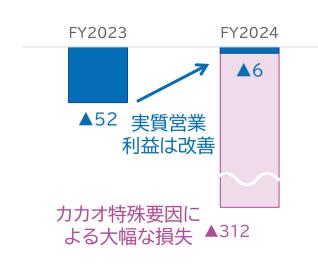
2024年1月に減損計上、3月に 5か年計画の構造改革を打ち出し、 課題への対応を加速。

構造改革の方針

- 1. シカゴ工場の閉鎖
- 2. カカオ加工事業の適正化

#### 2024年度 力力才特殊要因

構造改革による改善の一方で、カ カオ価格高騰に伴う特殊要因によ り関連費用が大幅に増加。



- □営業利益
- ■カカオ特殊要因を除いた実質営業利益



# 3 ブラマー 今後の施策



**□** 不二製油株式会社

リスクを低減し基礎収益力を改善するとともに、成長戦略の遂行を目指す。

### 基礎収益力の改善

- ✓ 2024年度に発生したカカオ特殊要因は、2025年度下期に 解消を見込む。
- ✓ カカオ在庫を適正化し、リスク低減を図ることに加え、日本からの人材を追加派遣。
- ✓グループの最優先課題として、事業管理・生産改善などに取り組む。

### 製品ポートフォリオの変革

- ✓ カカオ加工事業の適正化を進め、チョコレート 事業、なかでもコンパウンド製品を主とする 製品ポートフォリオへの変革を図る。
- ✓2026年度稼働予定のキャンベルフォード 工場の新ラインでは、付加価値型コンパウンド 製品を増産予定。



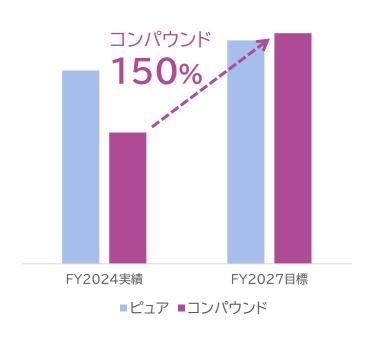
建設中のキャンベルフォード 工場の新ライン(カナダ)

#### 2027年度目標

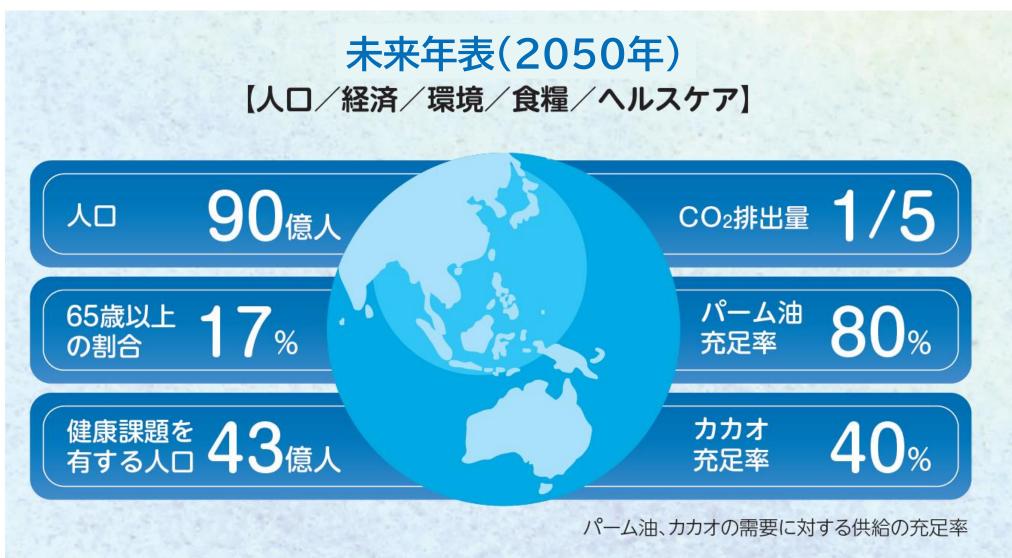
コンパウンド製品 2027年度販売数量

150%

(2024年度比)



1章	不二製油のご紹介
2章	2024年度 連結業績
3章	中期経営計画(2025~2027年度)
4章	サステナブルな食の未来に向けて



社会課題や顧客ニーズの解決を通じて、収益を創造し、企業価値の持続的な向上を図る。

### サステナブルな食の未来

不二製油も含めた バリューチェーン全体の持続的な成長

不二製油グループ のビジネス

### 植物性素材で、人と地球の課題解決

#### 地球・社会の主な課題

世界人口増加と 食資源の偏在化

ステークホルダーの主な課題

健康寿命の延伸



生態系変化への対応 労働者の人権課題 コミュニティとの共生



原材料の安定調達 フードロス、食品安全 人手不足・人件費増



「おいしい」多様な選択肢、健康増進

サーキュラー エコノミー

ネイチャー ポジティブ

> カーボン ニュートラル

カカオ豆由来の原料不使用のミルクチョコレートタイプ



動物脂のような甘みとコクを 持つ新ブランド「Melavio」



油脂酵母によるサステナブルな パーム代替油脂



